

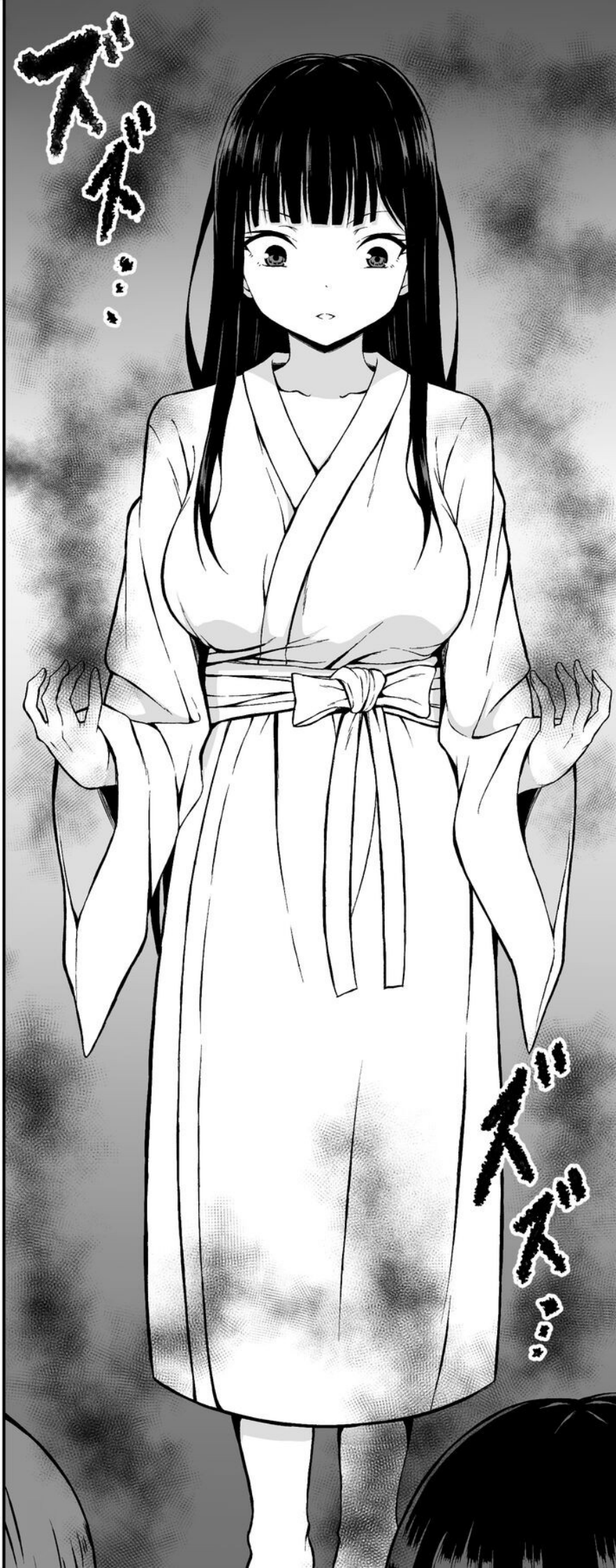
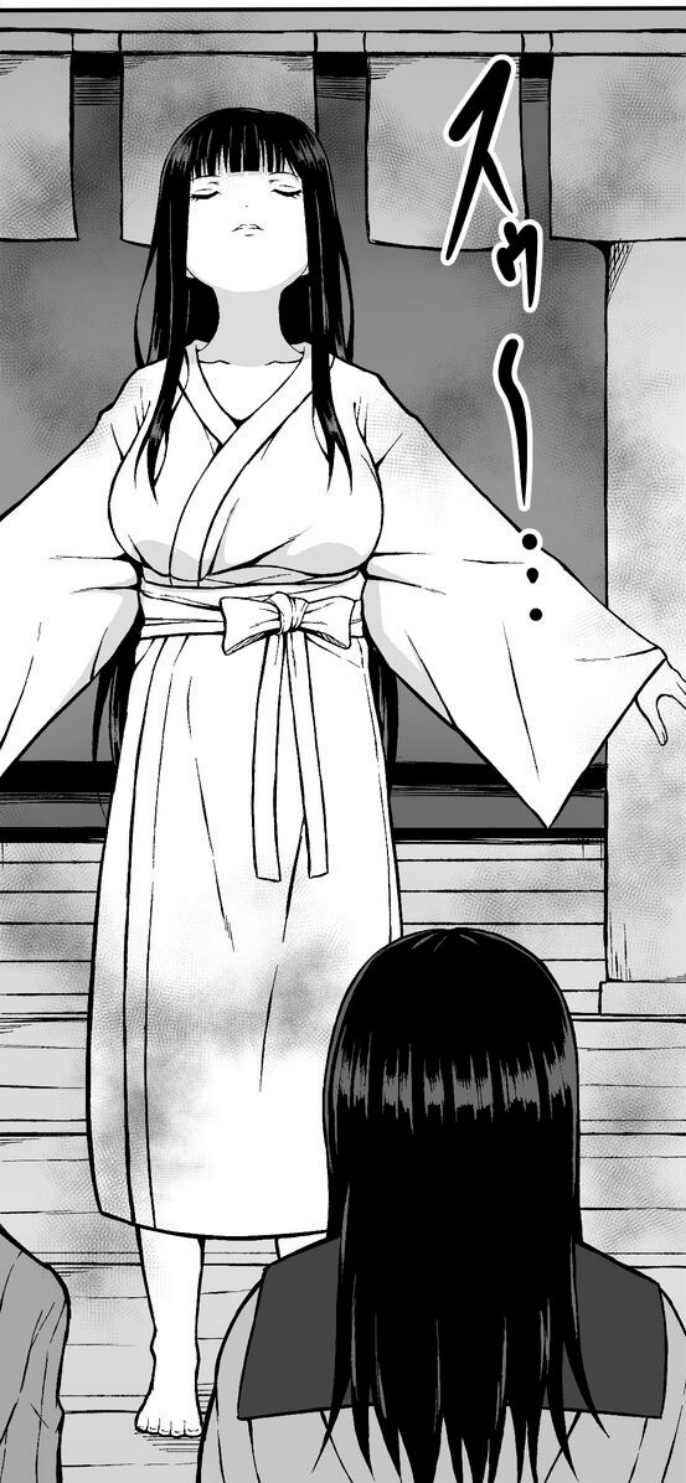
動う  
ハ  
体が  
なり  
す...  
**快楽に敗北す...**

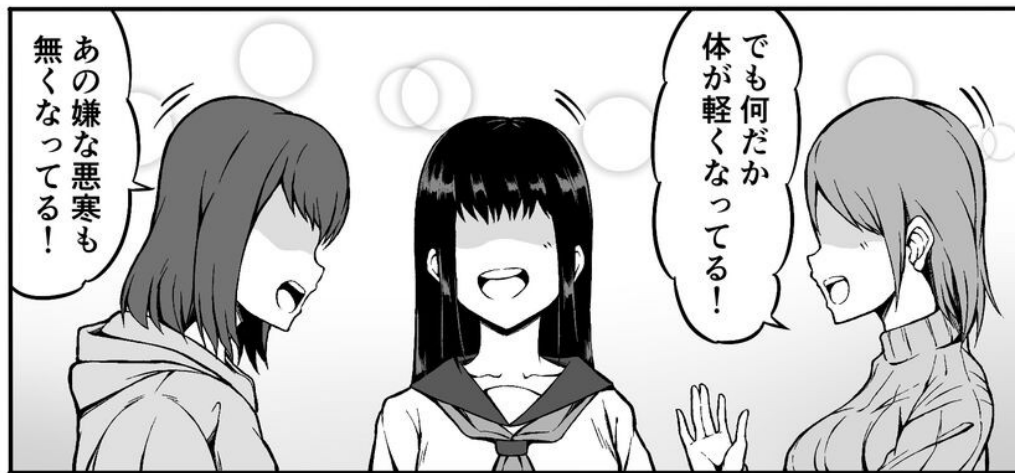
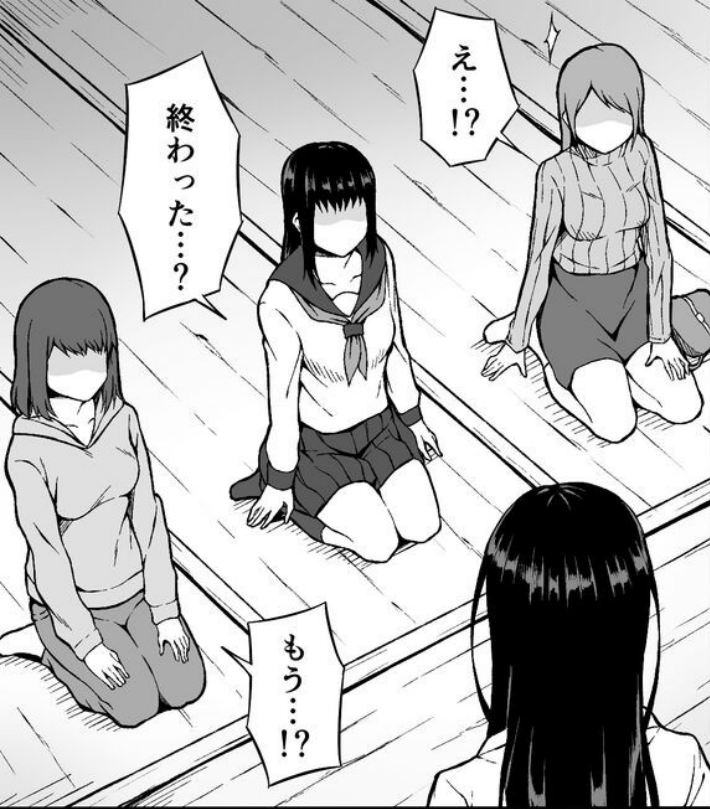
**霊媒師ミコト**

く体を清める為にえつちに  
触られイキ果てるカラダく









今の人達もそうだったけど...  
最近若い女性ばかりが  
お祓いに訪れる...

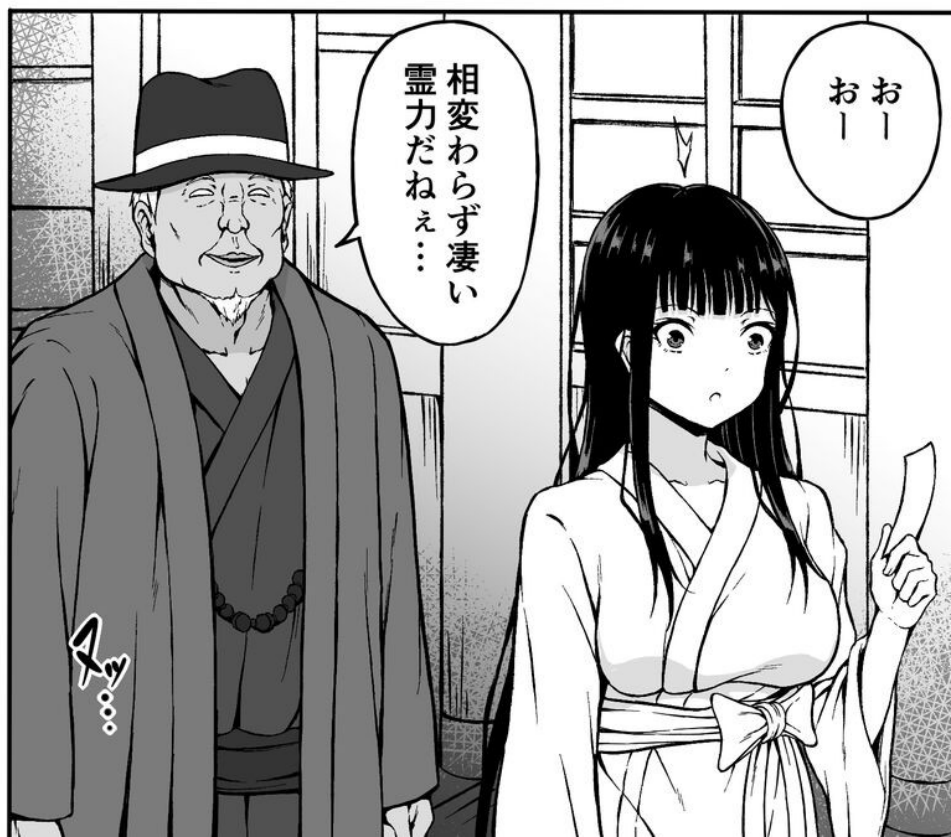
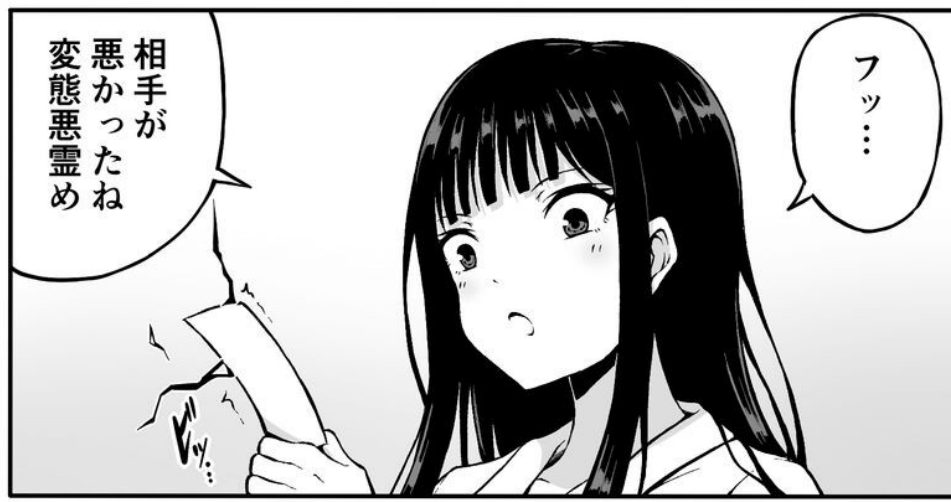
それに靈障は  
いつも共通していて...



それは...  
禍々しい何かから卑猥な  
ことをされること...!!



コイツ...  
今祓った瞬間  
今度は私に...





なんだかミコトちゃん  
いつもよりも体中の気が  
滞っているねえ

ふむ…  
おやあ？

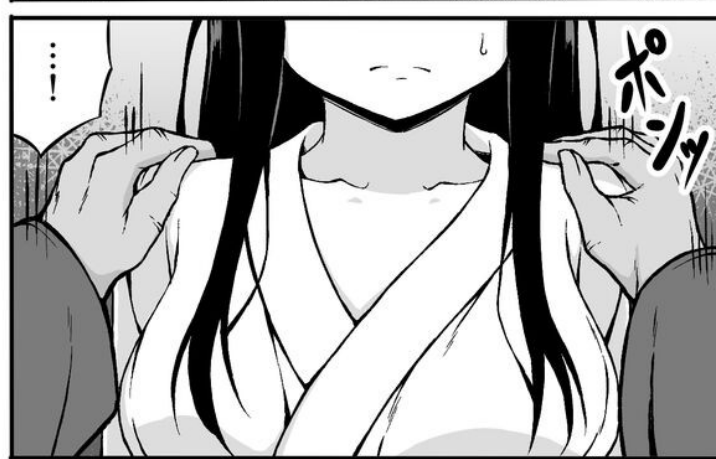
ッ！

ナナツ…

ナナツ…



いつもの  
チエツクだよ  
チエツク



ホッ



その地位を利用して  
好き放題私を視察に来る

ギョウ

また始まった…  
コイツは本家の  
当主…

別に…  
いつも通りですよ…！

ギョウ



最近お被いの  
し過ぎじゃない？  
悪い気が染み  
付いているよ

被った悪い気は  
気を付けないと  
こちらに危害を  
加え始めるからねえ



コノ…!



やめてッ!

うお!



ひゃッ!!

もみ

これはもうちょっと詳しく調べないとねえ



魔宮おじさんよりも私の霊力の方が遥かに強いことをお忘れなく

本家の当主だろうが容赦はしませんよ



自分の身体くらい自分で管理できるから!

悪い気に憑かれてるかチェックする口実でセクハラするなら…



ハハッ  
ハハッ

…ったく!



おお悪い悪い

その強い霊力な故心配なんだよ君の体が…

生まれつき誰よりも  
霊力の強い私は分家の  
身でありながら本家の  
当主から必要以上に  
鼻肩されそれを快く  
思わない者たちもいた

本家…分家…家柄の  
めんどくさいしがらみ  
はあるけど正直私には  
どうでもよかった

グズグズ



あんなエロおやじに  
目に掛けられても  
いいことないわっ

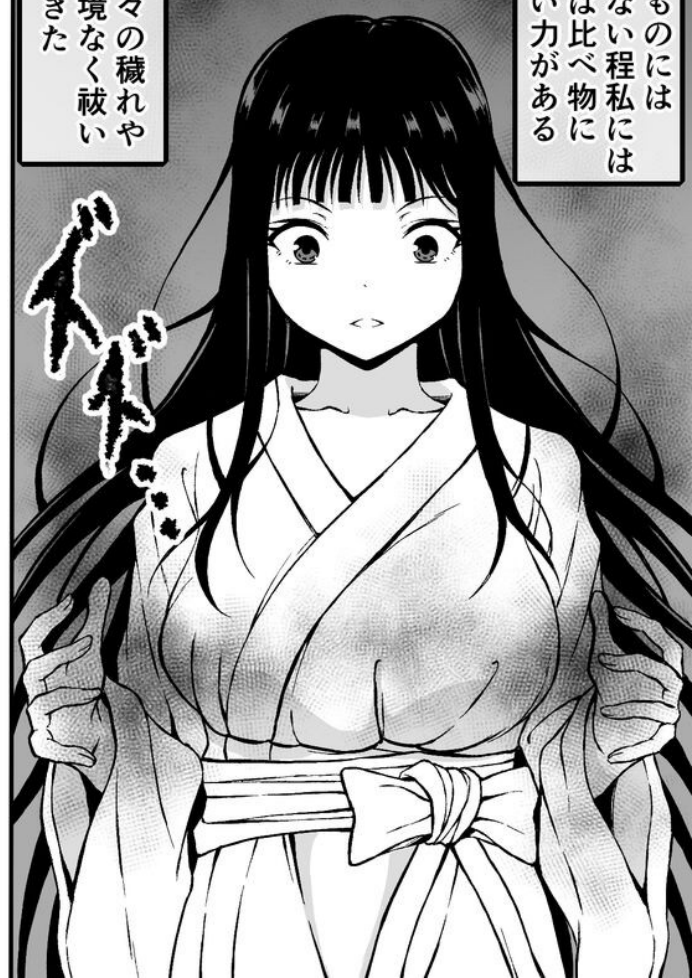


そんなものには  
縛られない程私には  
周囲とは比べ物に  
ならない力がある

私は人々の穢れや  
魔を見境なく祓い  
続けてきた

グズグズ

でも長年に渡る  
その行為が



ハア…

ハア…



ハア…

私の体を触み始めて  
いるのも確かだった

ハア…



この感じ…  
これは最近若い  
女性から被り続け  
てるモノ…

はッ…

んッ



体が熱い…

ハア…

んッ

うまく  
動かせない…

ハア…

んッ



くッ…  
体中を直接触られて  
撫で回されてる  
感触が…

くう…!

なんなの…  
この私でも  
被り切れてない  
っていうの…?

んうう…ッ!





私：これ：



朝…  
私…いつのまにか  
気を失って…



ンフフ  
昨晚は大変だった  
みたいだねえ  
ミコトちゃん



私…  
あのまま犯され…

あれは夢…？  
でも感覚が凄く  
鮮明だった…



これは結界術……!

私をここに閉じ込める気なの……?

ちよっと……  
ここは私の寝室なんですけど……

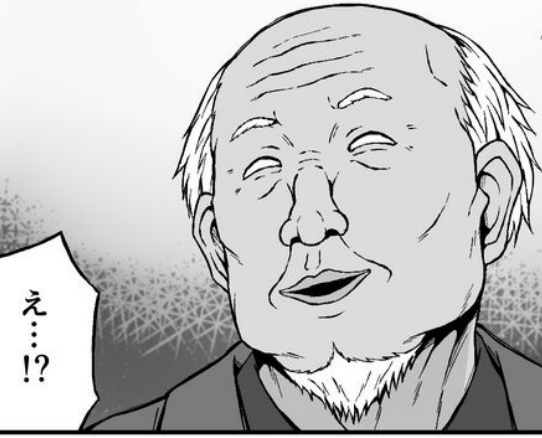
勝手に入って来てこんなこと……



何をしているのか分かってるんですか  
魔宮おじさん!



分かってるよお  
だってワシ、ミコトちゃん  
の両親から頼まれてここに  
来たんだもん



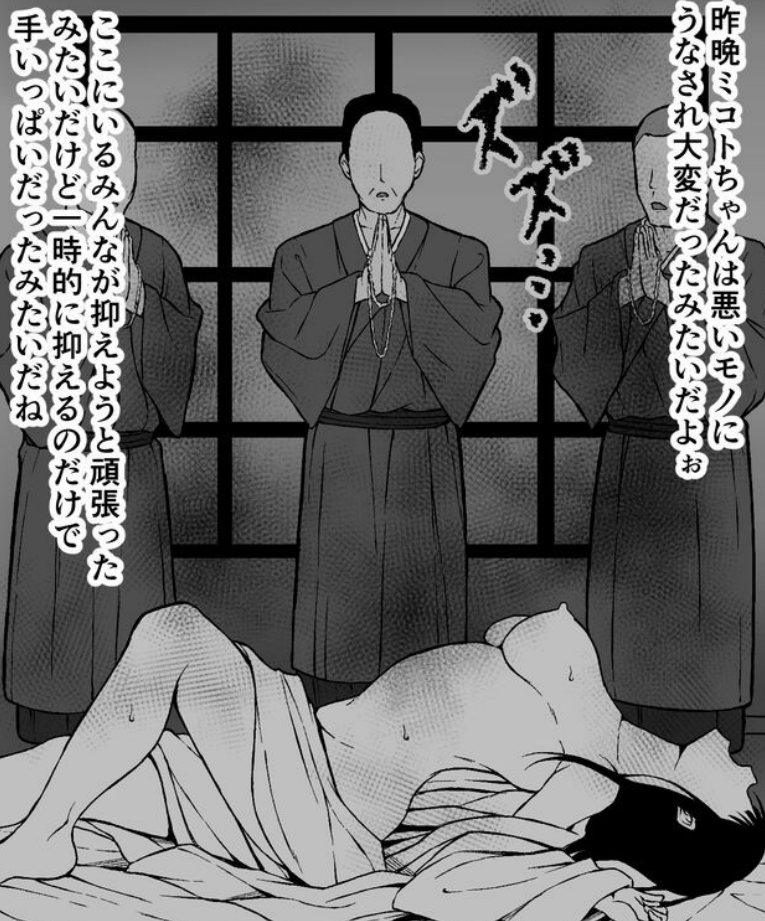
え……!?

で、本家当主のワシが  
呼び出されたわけ

ミコトちゃんの中に  
蓄積し溜まりに溜まった  
その穢れを完全に祓う為ね



昨晚ミコトちゃんは悪いモノに  
うなされ大変だったみたいだよお



ここにいるみんなが抑えようと頑張った  
みたいけど一時的に抑えるのだけで  
手いっぱいだったみたいだね



私の中に溜まった  
穢れって…  
そんなものあるはずが…  
私の霊力で祓い切れない  
ものなどない!



ちよつと  
まって…!

アッ…

ミコトちゃんを除けば  
ワシは一族で一番の  
霊能力者なんだよ?



塵積もった  
大量の穢れがねえ

刻み込まれているのさ…  
君の肉体の方には

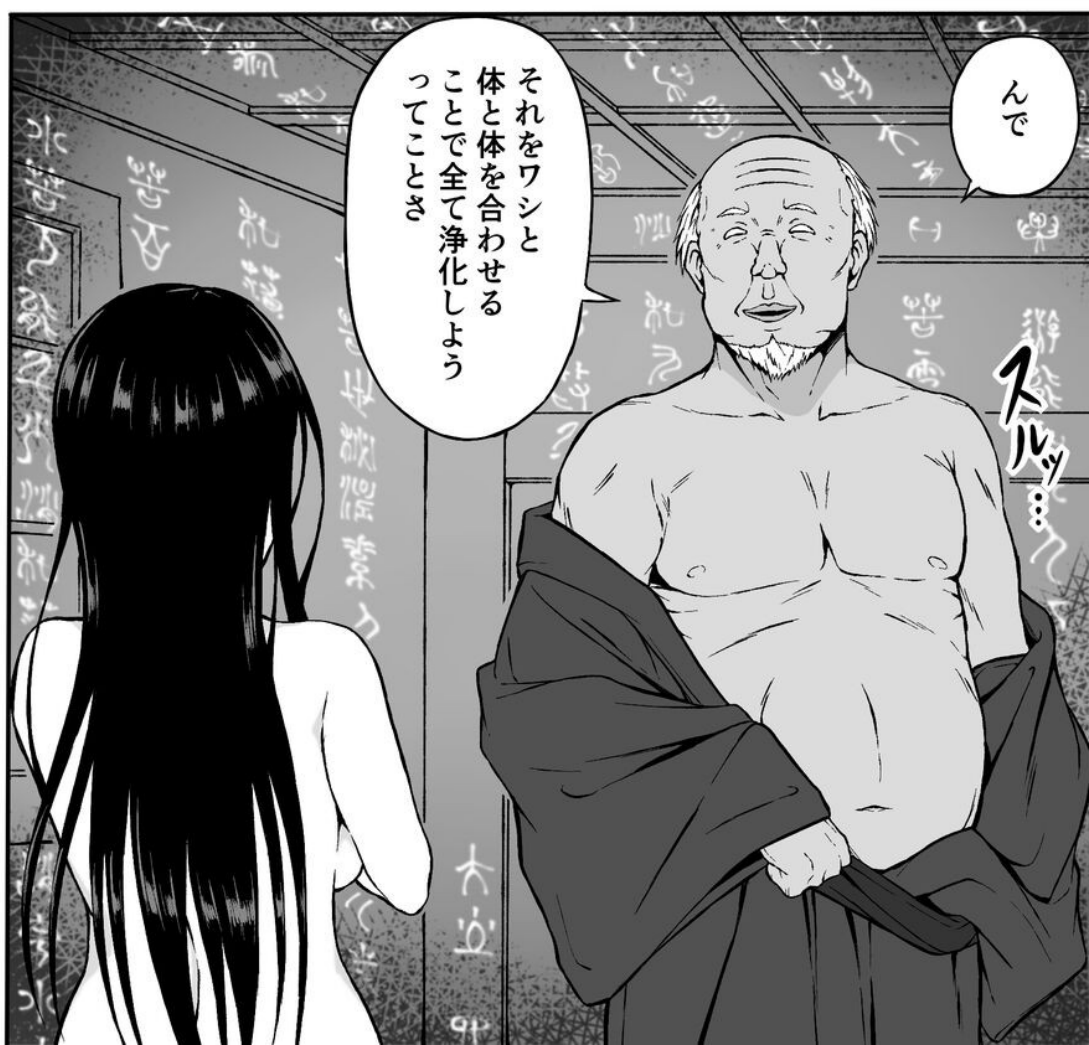


君はその強大な霊力が故  
幼いころからお祓いを  
やり過ぎている  
それは人々の穢れや魔に  
触れ過ぎていると同じだ  
霊力こそ君は一人前だが  
まだまだ肉体が発育段階で  
それに見合っていない

アッ…



ちよつと何で  
服を脱いで…!



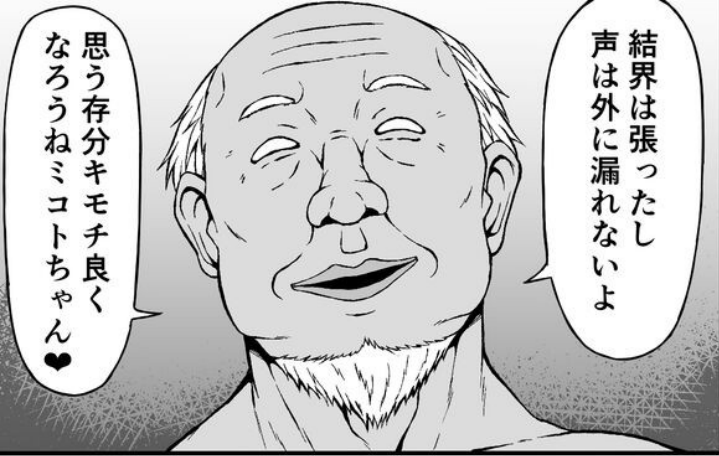
んで

スルッ…

それをワシと  
体と体を合わせる  
ことで全て浄化しよう  
ってことさ



体と体を合わせる…  
分かるでしょ?  
今からワシとミコトちゃん  
はセックスするんだよ









ヤッ!

いや!!  
いや!!

私今!!



そのまま  
胸を突き出し  
なさい



えっ  
うそ  
何で...



霊力がうまく  
扱えない...!!

ぷるんっ

いやあッ!!





さわ…  
るなあ!

いっ!



おお…なんと  
柔らかい!

んあッ!

もみ

もみ



ンフフ  
ずっとこのおっぱいを  
直で揉んでみたかった  
んだよねえ

くう…!

んんん

もみ

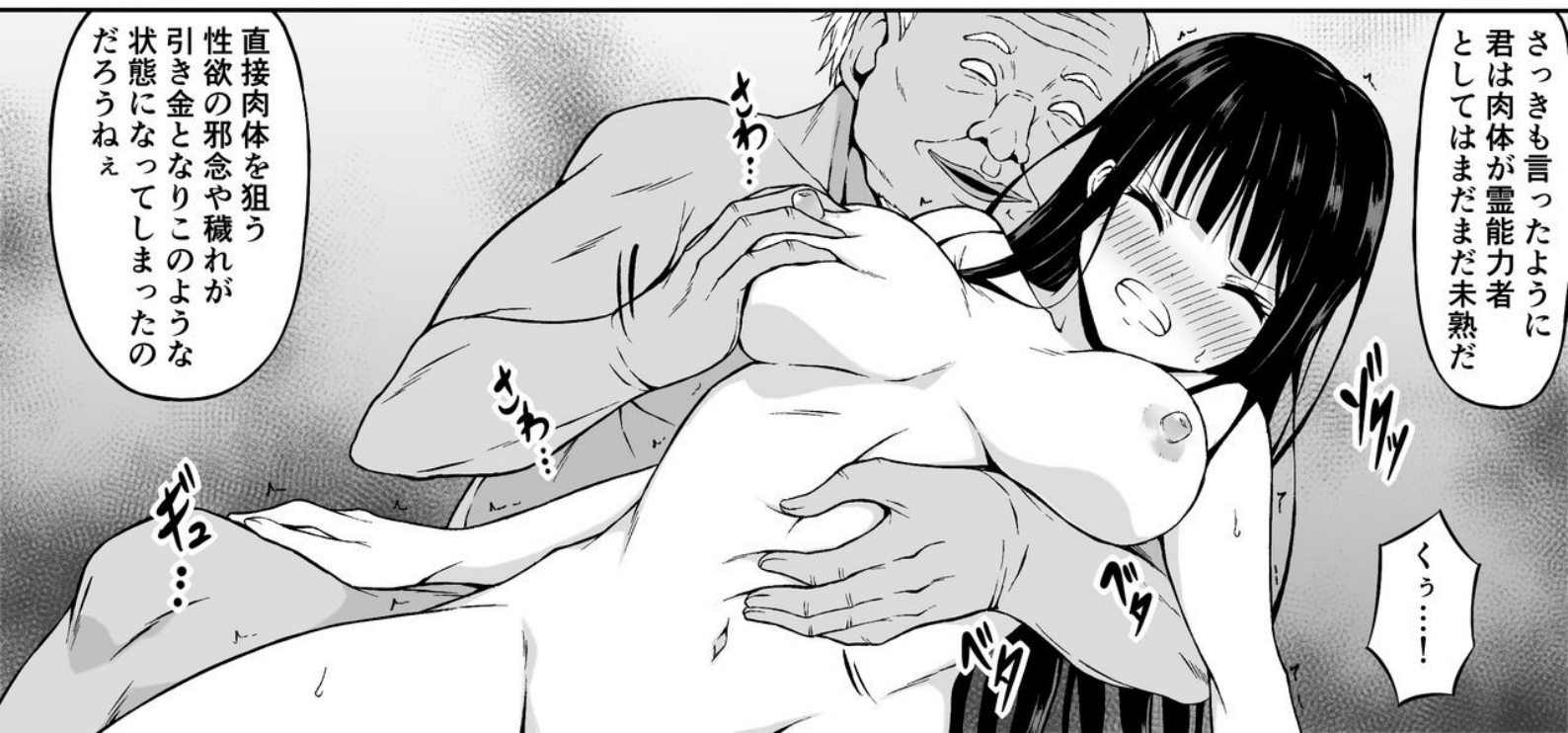
もみ

もみ

んほほ  
マシユマロ  
みたいだよ

くそ…  
この程度の呪術で体を  
縛られるなんてありえない!!





君の中に蓄積された  
穢れのことをもっと  
詳しく説明して  
あげよう

体が熱くなり  
凄く敏感に  
なってるねえ  
かなりの穢れに  
浸食されて  
しまったようだ

ああうッ!

んんッ!

んんッ!

最近若い女性のお祓い  
が多かったろう?

そこで祓ったモノは  
女性を狙った強い性欲  
の悪霊ばかりだった

女性からそれらを  
取り祓った瞬間  
その僅かな悪霊の邪念が  
君の中に入り込み

君の中に溜まった  
穢れを養分とし

巨大な性欲の穢れと  
なって君の体を蝕み  
始めてしまっているのさ

さっきも言ったように  
君は肉体が霊能力者  
としてはまだまだ未熟だ

直接肉体を狙う  
性欲の邪念や穢れが  
引き金となりこのような  
状態になってしまったの  
だろうねえ

くう...!



かわいいねえ

ほらほら  
体を触られると  
霊力もうまく  
練れないだろ  
つまりミコトちゃんは  
エッチなことを  
されるとめっほう  
弱くなってしまうんだ



ぎゅわん

もみゅ

ううう…ッ!



ぎゅわん

キモイ!  
気持ち悪い!



誰があんた  
なんかと  
こんなこと…ッ!



今日はワシが  
優しくいっっぱい  
教えてあげる  
からさあ

ソフフ 怖い?  
こうやって男女で  
体を絡め合うことは  
初めてなんだろ?

やッ!

もみゅ

もみゅ

ぎゅわん

たしかに体が  
異常に感じて  
しまう…

でもこんな変態に  
これ以上好き放題に  
されるのは絶対に嫌...

んんん...

んんッ!



おやあ?  
抵抗するのかい?  
できるかなあ?

集中...

んッ!

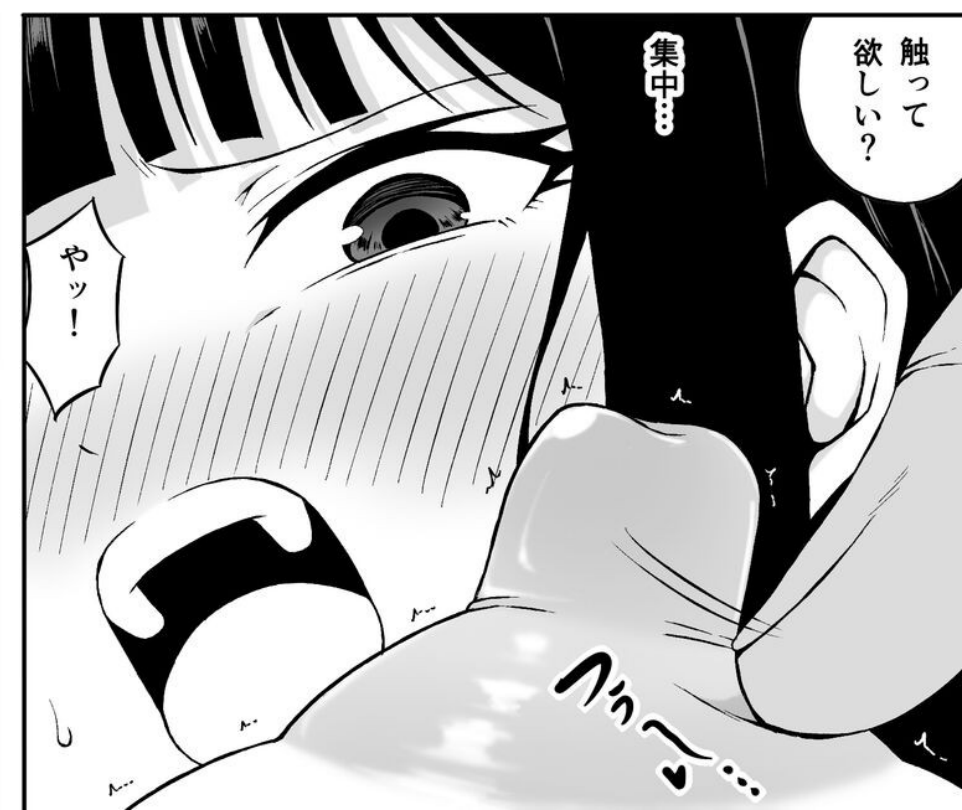
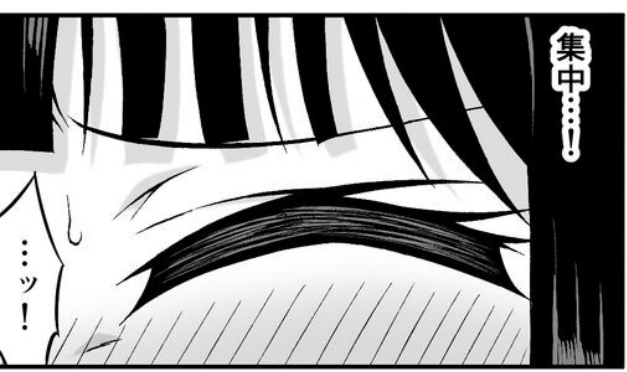
集中しろ...  
集中して靈力を  
込めれば...

んんん...

私なら自力で  
どうにかできる...!













はっはっ  
はっはっ

はっはっ

はっはっ





かわいいかわいい  
女の子としても  
見ていたからねえ！♡



お前が...ッ！  
仕向けたんだろッ！

んんん？

くっ...!

んんん♡

やああああ!!

おほほ！  
めちやくちや  
濡れてる  
じゃないかあ！

どこまで裏で手を引いてたかは知らないけど…んッ！私のもとに若い女性ばかり招き入れ…

性欲の悪霊を祓わせ…くッ…！

この状況を作り上げた…

ンフフ…分かってたんだ

イイねえその勘の鋭さ



ミコトちゃんの  
そういうところも  
ワシだ〜い好き♡



ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん

ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん

ぐわんぐわん  
ぐわんぐわん



ぶるぶる...

ハア...!

は...ッ!

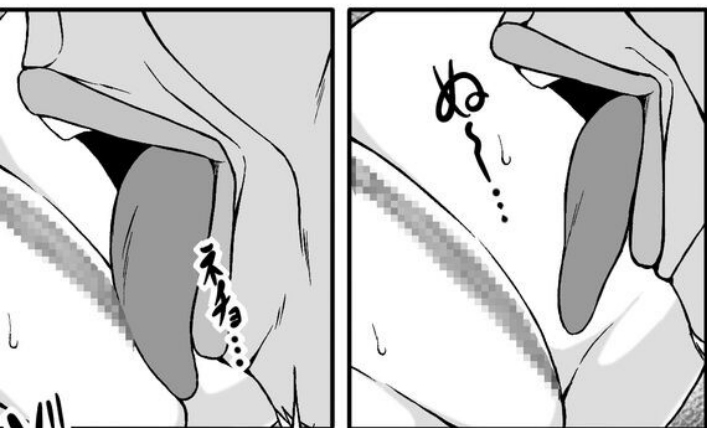
うあッ...!

壁にもたれ掛かり  
足を広げなさい

ハア...!

ぶるぶる...

やッ!



ぬ...?

ええ...



わっ!!



ワシは人の体に  
触れ霊力を吸う  
力が長けててねえ  
そうやって自身の  
霊力も高め  
本家当主まで  
登り詰めた

そんなワシがミコト  
ちゃんの霊力を  
吸わないわけには  
いかないよねえ

やッ!  
くるなあ!

グッ...





ミコトちゃんが格別に  
おいしいよお〜♡



ミコトちゃんも穢れを  
全部被い切る頃には  
どんなことになってるかなあ  
楽しみだなあ♡



いいよおどんどん  
イツちやってよ

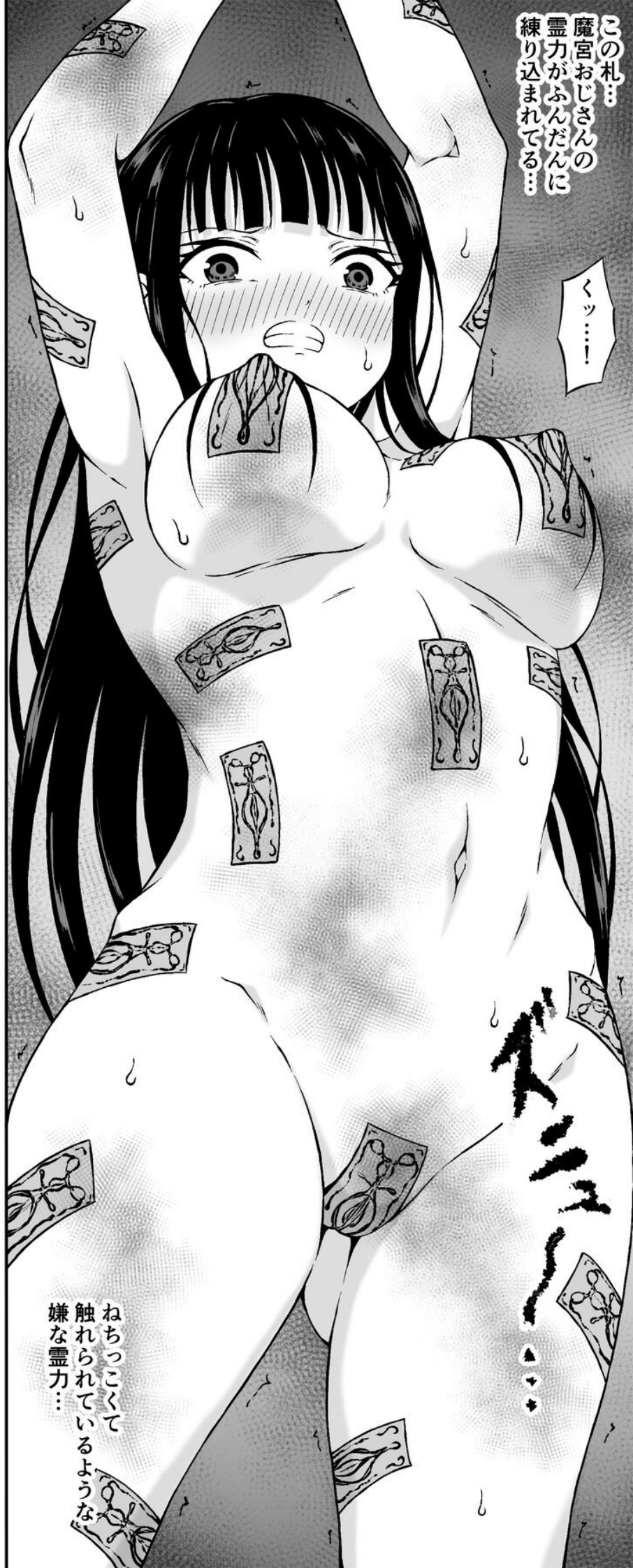
シッフ  
気持ちいいねえ

ワシとのセックス  
ではみ〜んな快樂に  
墮ちちやうからねえ



この札…  
魔宮おじさんの  
霊力がふんだんに  
練り込まれてる…

くっ…!



ねちっこくて  
触れられてるような  
嫌な霊力…

これはワシの特性呪符…  
今からミコトちゃんの  
性的感度を  
最大限まで  
高める呪術  
を施すよ

ザシ!

ザシ!



なっ…



ンフフ  
ただでさえ穢れにより  
外側から性感を高められ  
てるのに

ワシの呪術によって内側  
からも性感を高められ  
たらどうなっちゃうかなあ





ねえねえ楽しみだねえ  
今までよりさらに  
キモチ良くなっちゃうんだ  
ミコトちゃんが快樂で  
泣き叫ぶ姿はどんなかなあ

クッ...

フッ...



フフフ  
始めるよお



クッ!



だったら今この快樂を  
跳ね除け

フッ...



とんでもない変態ね...  
お前は絶対に許さない



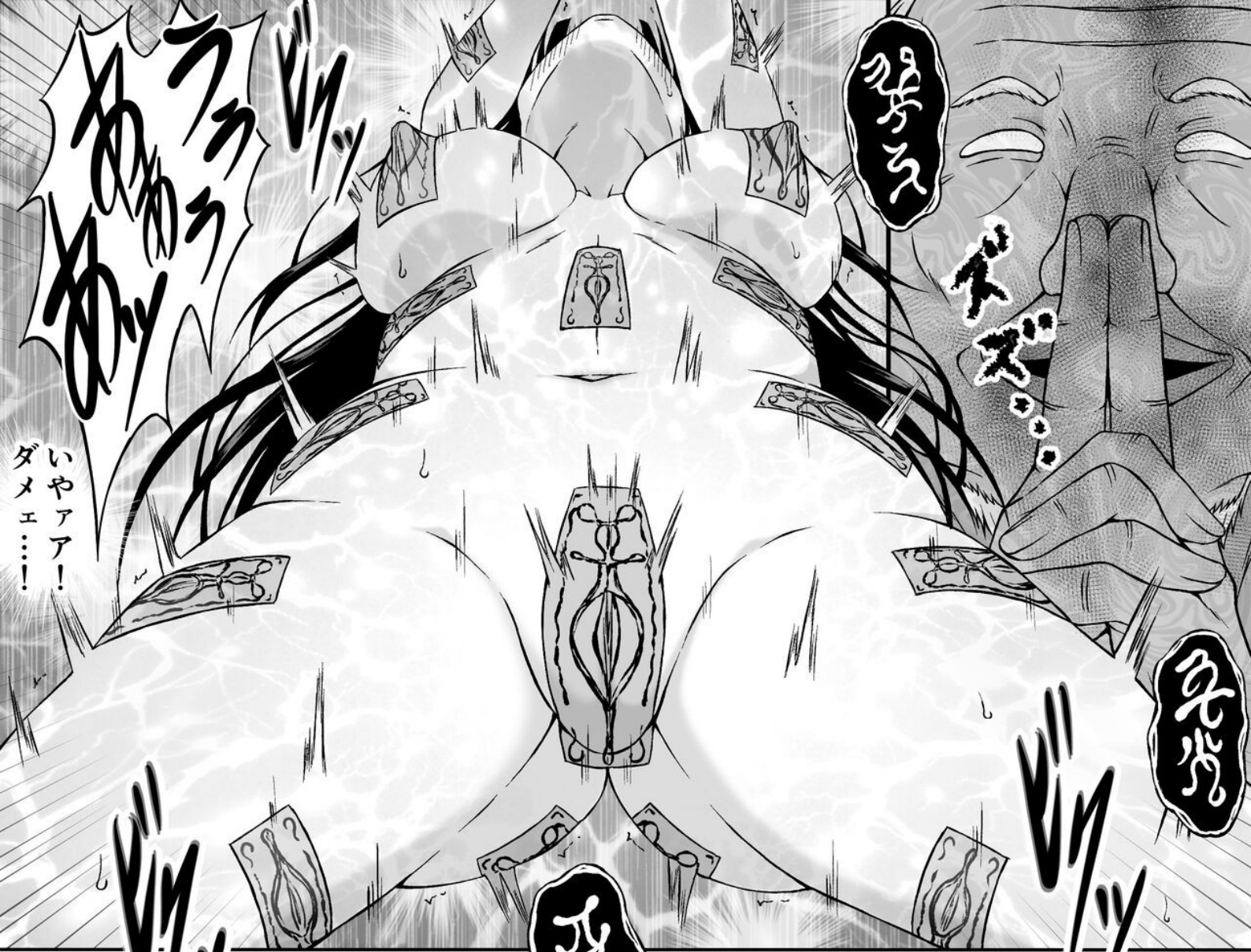
弱さ不

アッ

アッ

アッ

え...!?  
うそ...?  
なんなのこれ...!?



いやアア!  
ダメエ...!!

アアア

アア

アア



快感が  
内側から込み上げて  
きてッ...!!

アアア







うん♪  
イイ声で鳴くねえ  
ミコトちゃん

あーや  
あーや  
あーや  
あーや

どうだい？  
キモチ良過ぎて  
もう喘ぐことしか  
できないかい？

ビィ  
ビィ  
ビィ

あー  
あー

あー

あー  
あー

あー  
あー

おいしいなあ〜♡

あー  
あー



ソフフ  
このおっぱい  
くびれ 腰つき  
本当にワシ好み  
のカラダだよ

あーっ  
♡♡♡

ダメ…撫でられる  
だけで全身がゾクゾクして…  
我慢できない…!!

ハハ♡

ハハ♡

♡わ♡

♡わ♡

♡わ♡

♡わ♡

♡わ♡

それに全身を巡る  
この素晴らしい霊力…  
まさに極上のカラダ  
だねえ



もうワシも  
我慢できないよ

おは...  
シ...

グワッ  
グワッ  
グワッ

グワッ  
グワッ  
グワッ

おは...  
シ...

もう一つにならうか  
シロトちゃん

スト...











おほほ!!  
凄く締まるねえ!  
どうだいミコトちゃん!  
初めてのチ○ポの味はあ!





うそ…  
挿れられると…  
こん…なに…ッ

↑↑↑

あぁあぁあぁ  
あぁあぁあぁ  
あぁあぁあぁ

↑↑↑

ダメ!  
ダメエエ!!  
快感で頭がもって  
かれそうに…ッ!

あぁあぁあぁ  
あぁあぁあぁ  
あぁあぁあぁ



ああ...  
キモチイイねえ  
ミコトちゃんツ!  
ワシもこんなに  
キモチイイの  
久しぶりだよ!!

お前は...  
後で...  
私の力で...

必ず  
呪い殺して...ツ



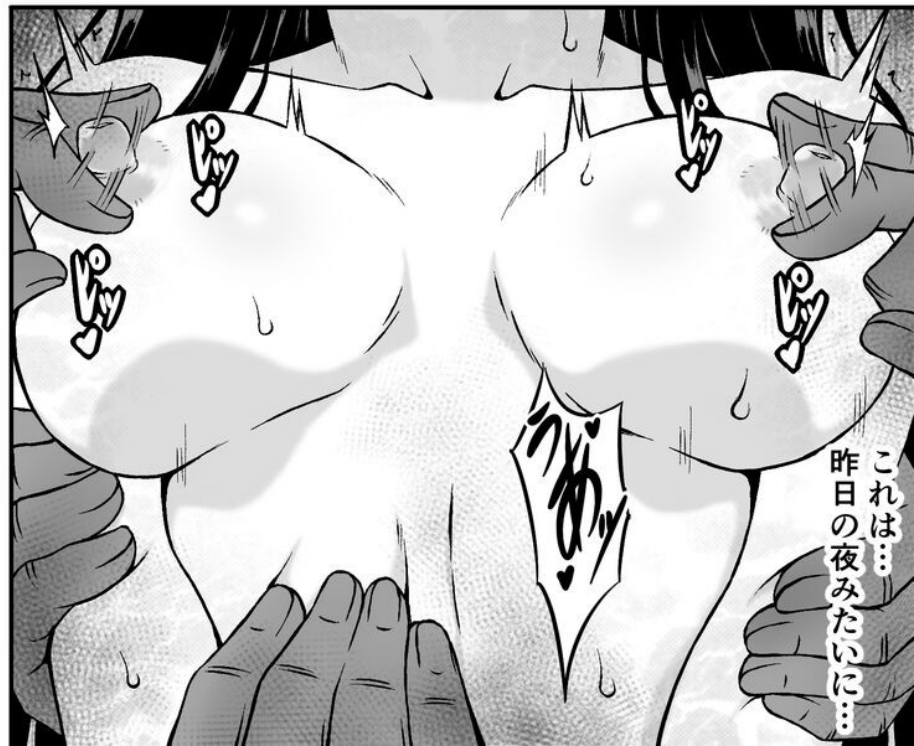
んぐらんぐらん  
呪い殺すなら  
まず...



自分に掛かってる  
その呪いのようなものを  
どうにかしないとねえ！



体中を触られる  
感触が…ッ！



これは…  
昨日の夜みたいだ…



ウハハ!  
妻いねえ!  
この快楽に応じて  
ミコトちゃんの中の  
性欲の穢れも一気に  
呼び醒まされたようだ!



さあ  
た〜っぷりと  
可愛がられて  
もらいなさい



ダメッ！乳首は  
ダメ！ダメエ！



吸わないでえええッ！！

んぱんぱんぱん









ただただ  
魔宮おじさんに  
飛ばされるだけの  
時間：



この変態の私への  
執着心と底知れぬ  
性欲は妻まじかった

ああ最高の霊力と体  
本っ当においしいよお



何時間も何時間も  
犯され続け：

あまりの快楽に私の  
中の穢れはとづくに  
全部浄化していた：

もうセックスする  
必要なんでない

魔宮おじさん私の  
体に夢中で体を縛る  
呪術も解いている



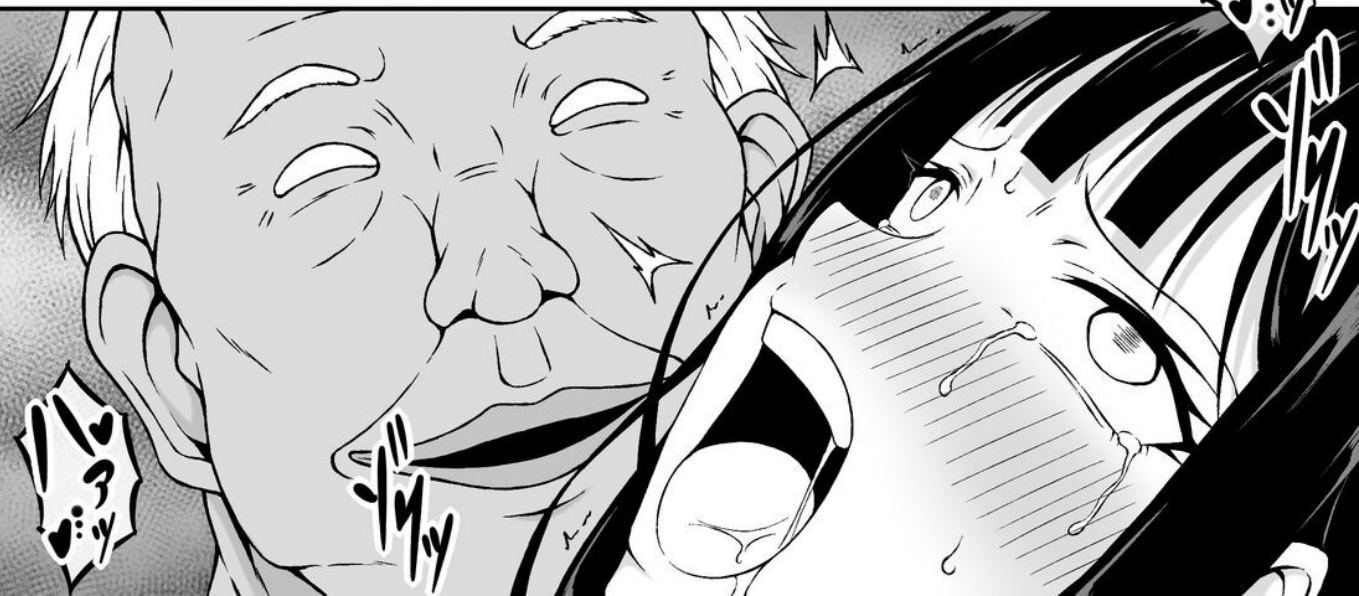
一刻も早くこの  
場から抜け出し  
たいのに...

ああ!  
キモチイイ!  
キモチイイよ  
ミコトちゃん!♡

この強過ぎる快楽に  
どうすることも出来ず  
精液を注ぎ込まれ続けた…



ンフフ  
かわいいねえかわいいねえ  
あんなに反抗的な目だったのに  
こんなにとろけた目になっちゃって



ほらッ！ほらッ！  
どうだい!?  
ワシのチ○ポ  
キモチ良くて  
仕方ないだろお!

めっめっめっ  
めっめっめっ

めっめっめっ

めっめっめっ

めっめっめっ

めっめっめっ

キモチイイ...

キモチイイ...ですッ

ぶるる

ぶるる

遂には自らこの快楽  
を認めてしまい...





最後にはこの部屋の  
結界の外まで響いて  
しまうくらいの  
喘ぎ声で泣き叫び  
イキ果てた：



んっ  
ごちそうさま♡



今までに味わった  
霊力で一番の  
おいしさだったし  
一番に気持ちいい  
セックスだったよお  
これからもたーっぶり  
味わせてねミコトちゃん♡

私には周囲とは比べ物に  
ならない程の霊力がある…  
でも強すぎる快樂の前では  
どうすることも出来ない  
ことを体に覚え込まされた…